

事業の特徴

1. より正確でより速い病理診断の実現



AIを活用した病理診断ソリューションを提供。
Qritive社のソリューション使用により、30%の病理診断時間削減、82%の診断ミス削減、80%の病理医の判断差を削減。

2. 豊富な実績



- ・NatureのScientific ReportやUSCAPなど、著名な医学雑誌や学会でQritive社のソリューションを掲載
- ・USCAP 2024でISBP-BCRFの乳腺病理研究部門第1位を受賞。その他、NASSCOMやIndia-Sweden Healthcare Innovation Centreなどから複数の賞を受賞
- ・インド、モロッコ、UAE、米国で事業を展開

マッチングニーズ

求める
都内企業像

- 病理医学を研究している研究組織
- 大学病院の病理診断科の先生

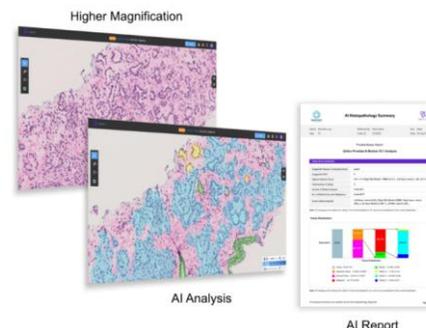
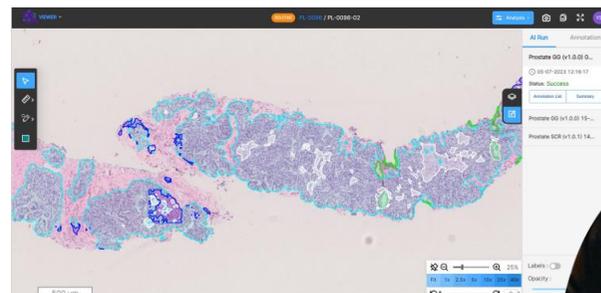
実現
したいこと

日本における実証実験に協力いただける病院・企業

- 日本における自社システムの日本における有効性実証

事業概要（サービス／製品）

- Qritive社のAI病理診断システムにより以下が可能となった
 - がん診断精度の向上
 - 病理医の業務効率の改善
 - 患者ケアの向上を実現
- 従来のデジタル病理学では、組織や細胞の画像をもとに、病理医が目で見えて診断を行っていた
- AIを活用したQritive社のシステムにより、画像から異常を自動認識することが可能
- **Qritive社のソフトウェアにより、画像からがんをAIで自動判定（レベル別に色分け可能）**



事例

実施概要

ラーズブ・ガンディーがん研究所（インド・ニューデリー）における画像管理システムおよびAIモジュールの導入

詳細

- Qritiveは、前立腺、結腸、リンパ節転移の検出用に、同社の画像管理システム（IMS）とAIモジュールを導入
- IMSは、病理医が遠隔地の同僚と画像を効率的に共有し、セカンドオピニオンを得られるよう支援している
- AIモジュールにより、処理能力と精度が向上



関連URL

詳細：<https://x.gd/eTUdD>

実施概要

DataPathology社と共同で実施した、モロッコにおけるデジタル病理診断のマスタークラスとPantheonおよびAIモジュールの導入

詳細

- Qritiveは、前立腺およびリンパ節転移の検出のための画像管理システム（IMS）とAIモジュールを導入
- デジタル病理診断の機運を高めるため、28名の参加者を集めて初のマスタークラスを開催
- アフリカでの事業拡大に向け、さらなるパートナーシップが結ばれる予定



関連URL

詳細：<https://x.gd/ucV2D>

会社概要

- 業種分類：情報通信・AI



HP：
<https://qritive.com/>

- 日本への進出体制

日本支社有無	無	日本語対応	不可
日本での検討状況	研究開発拠点を設置し、次のような研究開発を実施 -製品のローカライズと検査精度の向上を図ることを目的とし、病院や医療機関と協業した上で、日本人のデータを用いた臨床研究を実施する		
その他			

- 会社概要

社名	Qritive Pte. Ltd		
会社HP	https://qritive.com/		
所在地		シンガポール	
設立年	2017	従業員数	15名
資本金	—	出資	Exfinity Venture Partners、SEEDS Capital 他
主な事業内容	がんの病理診断を行う病理医向けに、病理診断を支援するAIソリューションを開発、提供		
事業パートナー・主要顧客	病院、研究機関		
海外展開状況	インド、モロッコ、UAE、米国		
資金調達実績	2023年1月のシリーズAで750万ドルを調達		